



【成績評価の方法・基準・割合】		到達目標										評価方法別の比率(%)	
成績評価方法	評価基準	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩		
試験(定期試験/授業内試験)	現代社会における政策及び政策形成過程の特質やその問題について、主に到達目標①②③の観点から十分に理解できているかを評価します。	10	30	40									80
小テスト等	授業中に実施される小テストにおいて、主に到達目標②③にかかわる政策分析の視点が身についているかを評価します。		10	10									20
レポート等													
討論・発表等													
授業への参画度	毎回、授業に積極的に参加することが求められます。												
その他()													
その他()													
その他()													
到達目標別の比率(%)		10	40	50									100

**【課題に対するフィードバックの方法】**  
 毎回、前回の小テスト等に対する講評を行い、政策や政策過程に対する理解の向上に努めます。

【教科書・参考書等】					
書名	著者名	出版社名	発行年	種別	必要度
議会政治(第3版)	加藤秀治郎、水戸克典	慈学社出版	2021年	教科書	必携
備考					

**【オフィスアワー】**  
 金曜日 12:15～12:55 (研究室) ※事前にメール (mito.katsunori@nihon-u.ac.jp) で必ず連絡・予約してください。

【実務経験を活かした実践的教育について】	
担当教員の実務経験の有無	実務経験の内容
無	
実務経験に基づく実践的教育の内容	

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
1	ガイダンス及び導入講義	「公共政策」とは何かについて学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①に関連し、公共政策の意義やその特殊性について理解することができる。	
	事前学修	履修条件を説明するので、初回ガイダンスには必ず出席すること	120分
	事後学修	ガイダンスで示された履修条件を確認するとともに、教科書を用意しておくこと	120分
2	国家の役割と公共政策	国家の中で果たす公共政策の役割について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、戦前と戦後とで公共政策の果たす役割が大きく変化したことを理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
3	公共政策と議会	日本の国会の会期制や委員会制度のついて学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、日本の国会の会期制や委員会制度が特殊であることを理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
4	公共政策と議会	先進各国の二院制について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、日本の国会の二院制が特殊であることを理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
5	公共政策と政党	政策形成過程において政党が果たす役割について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、政党の性格や役割、その意義や問題について理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
6	政府と官僚制	行政国家の意味や官僚の役割について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、行政国家における官僚制度の特質について理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
7	利益集団の圧力活動	利益集団の定義及び政策過程において利益集団が果たす役割について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②に関連し、利益集団の圧力活動のメリットとデメリットについて把握することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
8	政策過程のモデル	主に欧米において用いられてきた政策過程を説明する理論モデルを学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、政策過程を説明するモデルの意味やその限界について理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
9	政策類型論	政策の内容が政策過程を決定するという理論モデルを学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、代表的な政策類型モデルを理解するとともに、その問題点を把握することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
10	戦後の日本における公共政策の展開	戦後の日本において、重点政策がどのように変化していくのかを選挙と絡めて学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、選挙と政策の関係性を把握しながら、戦後日本政治の流れを理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
11	戦後の日本における公共政策の諸問題	戦後の日本において実施されてきた重要政策の意義や課題について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、戦後政治史における公共政策の変遷やその問題・課題について理解することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
12	現代日本における公共政策の現状	現代日本における公共政策の概要を理解するとともに、その問題や課題について学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、現代の日本における重要政策の概要を把握し、それを他者に説明することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分

【授業計画】※日程について、複数の曜日・時限にて同授業を開講の場合は、併記を行っている。

回数	テーマ	内 容	
13	現代日本における公共政策の諸問題	現代日本における公共政策の問題について、具体例を挙げながら学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、現代の日本における重要政策の問題点を把握し、それを他者に説明することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
14	現代日本における公共政策の課題	現代日本における公共政策の今後の課題について、具体例を挙げながら学修する。	
	この回の到達目標	到達目標①②③に関連し、現代の日本における重要政策の課題を把握し、それを他者に説明することができる。	
	事前学修	ノートを読み返しながら、前回の授業で扱った政策及び政策過程に関する知識を復習しておくこと	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分
15	まとめ	これまでの授業で扱った諸政策、及び政策過程の問題や課題について整理しながら学修する。	
	この回の到達目標	公到達目標①②③に関連し、公共政策及びその形成過程に関する主要な論点を説明することができる。	
	事前学修	公共政策及びその形成過程に関する主要な論点を修得する。	120分
	事後学修	指定教科書の該当頁を必ず読んでおくこと	120分